



さらに JAZZ シリーズは次の9つのモードにプログラムする事が出来、それぞれの目的に応じて最適の設定を選択できるようになっています。

KONTRONIK JAZZスピードコントローラー取扱説明書

(本説明書は、リトルベランカの著作物であり許可なく転載不可)
JAZZ シリーズで新たに加わった機能は下記のとおりです。

- ①Li-Po バッテリーに対応したこと。〔但しプログラミングが必要〕
- ②18 セルまで BEC が使用できるようになったこと。
- ③通常の BEC システムと違い入力電圧とは独立した BEC 機能になっている為、OPTO 仕様のスピードコントローラーとして使うことも出来るようになったこと。OPTO として使う場合にはアンプから受信機へ接続されるケーブルのうち中央にある赤い電源(+)ケーブルをコネクタからはずしてください。そしてそのかわり 4.8V バッテリーをスイッチとともに受信機に接続してください。この場合は主バッテリーを接続しただけではモーターは回らず、その 4.8V バッテリーのスイッチをオンにする事でスタートします。
- ④プログラム変更には、必ずジャンパーの接続が必要になった。プログラムを終了した時点ではジャンパーは抜いてあるため、誤って設定が変更される危険がなくなったこと。(これまではアンプのボタンを押して設定していたため間違えてしまう事も少なくなかった)
- ⑤設定時における確認のためのピープ音に連動して、どこからでも確認できる LED ランプが装着されました。また正常動作時にはスロットル最スロー(スロットルスイッチオフ)で LED は連続して点灯を続けますが、異常時にはピープ音とともに点滅を繰り返します。

購入してから初めてこのスピードコントローラーを使用する場合、次のステップで簡単にモーターを回すことが出来ます。工場出荷時はモード 1(Auto Programing Mode-APM)が既に設定されています。このモード 1 はブレーキオン(0.5 秒)、アンダーボルテージカットオフ電圧は 1 セル当たり 0.8V として設定されます。従ってこのままでは Li-Po は使用しないで下さい。

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 送信機のスイッチをオンにします。
- C. スピコンにバッテリーを接続します。
- D. 2秒ほどでルルルとピープ音が聞こえます。(LED も3回点滅します)
- E. これで完了です。
- F. スロットルスティックを上げて下さい。モーターが回り始めるはずです。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして 10 秒ほど経ってからもう一度 A から繰り返してください。

(1) Auto Programing Mode(Mode1)

工場出荷時の設定はこのモード 1 になっています。ブレーキオン(0.5 秒)及びアンダーボルテージカットオフは 0.8V/セルになっています。このモードではスロットルのフルハイと最スローは自動的に認識され、スロットルのポジションが+100/-100 となっている限り、スロットルスティックを一番上にあげたときにフルハイで一番下に下げたときにブレーキオフになるように自動設定されます。従ってブレーキのスティック位置を変更する事は出来ません。又他のプログラミングモードを全てリセットするにはこのモード1にプログラムすれば、工場出荷時状態に戻す事が出来ます。自分が過去どのような設定をしていたか不明になってしまった場合など、このモード1に再設定すれば、工場出荷時の状態(購入したばかりの状態)に戻す事が出来ます。モード 1 の設定は下記のとおりです。(購入時にはこの設定が終了していますので再度設定する必要がありません。)

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 黒いジャンパーを3本のジャンパーピンのうちのどれか2本に差し込む。
- C. 送信機のスイッチをオンにします。
- D. スピコンにバッテリーを接続します。
- E. 2 秒ほどでルルルとピープ音が聞こえます。(LED も 3 回点滅します)
- F. ジャンパーを抜き取ります。
- G. 再度ルルルとピープ音が 3 回聞こえます。(LED も 3 回点滅します)
- H. 1 秒程でピとシグナル音が 1 回聞こえます。(LED も 1 回点滅します)
- I. スロットルスティックをフルハイ(スロットルスイッチをオン)にします。
- J. 再度ルルルとピープ音が 3 回聞こえます。(LED も 3 回点滅します)
- K. スロットルスティックを最スロー(スロットルスイッチをオフ)にします。
- L. ピとシグナル音が 1 回聞こえます。(LED も 1 回点滅します)
- M. バッテリーをはずしてください。バッテリーをはずさないと設定が完了しません。この時点でスロットルスティックを上げてモーターは回りません。(これで初期不良だと思わないで下さい)
- N. バッテリーを再度接続してください。
- O. すぐにルルルとピープ音が 3 回聞こえます。(LED も 3 回点滅します)
- P. スロットルスティックを上げて下さい。モーターが回り始めるはずです。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして 10 秒ほど経ってからもう一度 A から繰り返してください。

(2) グライダー Mode (Mode2)

基本的にモード2はモード1と同じで、ブレーキオン(0.5秒)及びアンダーボルテージカットオフは0.8V/セルになっています。ただしブレーキのスティック位置を変更することができるようになります。したがってスティックの任意の位置でモーターにブレーキをかけることが出来ます。

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 黒いジャンパーを3本のジャンパーピンのうちのどれか2本に差し込む。
- C. 送信機のスイッチをオンにします。
- D. スピコンにバッテリーを接続します。
- E. 2秒ほどでルルルとビーブ音が聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- F. ジャンパーを抜き取ります。
- G. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- H. 1秒程でピとシグナル音が1回聞こえます。(LEDも1回点滅します)
- I. さらに1秒ほど待つとピピとシグナル音が2回聞こえます。(LEDも2回点滅します)
- J. スロットルスティックをフルハイ(スロットルスイッチをオン)にします。
- K. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- L. 任意の位置にスロットルスティックを下げます。
- M. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- N. スロットルスティックを最スロー(スロットルスイッチをオフ)にします。
- O. ピピとシグナル音が2回聞こえます。(LEDも2回点滅します)
- P. **バッテリーをはずしてください。バッテリーをはずさないと設定が完了しません。この時点でスロットルスティックを上げてモーターは回りません。(これで初期不良だと思わないで下さい)**
- Q. バッテリーを再度接続してください。
- R. すぐにルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- S. スロットルスティックを上げて下さい。先ほど任意の位置にセットしたスロットルの位置からモーターが回り始めるはずですが。またスロットルを下げると先ほど設定した任意の位置でブレーキがかかるはずですが。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして10秒ほど経ってからもう一度Aから繰返してください。

(3) 電動プレーン Mode (Mode3)

モード3はブレーキオフ及びアンダーボルテージカットオフ機能はなくなりますが、通常のBECは機能します。

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 黒いジャンパーを3本のジャンパーピンのうちのどれか2本に差し込む。
- C. 送信機のスイッチをオンにします。
- D. スピコンにバッテリーを接続します。
- E. 2秒ほどでルルルとビーブ音が聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- F. ジャンパーを抜き取ります。
- G. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)

- H. 1秒程でピとシグナル音が1回聞こえます。(LEDも1回点滅します)
- I. さらに1秒ほど待つとピピとシグナル音が2回聞こえます。(LEDも2回点滅します)
- J. さらに1秒ほど待つとピピピとシグナル音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- K. スロットルスティックをフルハイ(スロットルスイッチをオン)にします。
- L. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- M. スロットルスティックを最スロー(スロットルスイッチをオフ)にします。
- N. ピピピとシグナル音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- O. **バッテリーをはずしてください。バッテリーをはずさないと設定が完了しません。この時点でスロットルスティックを上げてモーターは回りません。(これで初期不良だと思わないで下さい)**
- P. バッテリーを再度接続してください。
- Q. すぐにルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- R. スロットルスティックを上げて下さい。モーターが回り始めるはずですが。またスロットルを最スローにするとモーターはブレーキがかからず空回りしながらゆっくり止まるはずですが。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして10秒ほど経ってからもう一度Aから繰返してください。

(4) ヘリコプター Mode (Mode4)

モード4はヘリコプターモードで、電圧低下に伴うモーター回転数の低下を防ぎ、また負荷に応じて電流値を制御する事によって最適な回転数を得られるようになります。

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 黒いジャンパーを3本のジャンパーピンのうちのどれか2本に差し込む。
- C. 送信機のスイッチをオンにします。
- D. スピコンにバッテリーを接続します。
- E. 2秒ほどでルルルとビーブ音が聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- F. ジャンパーを抜き取ります。
- G. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- H. 1秒程でピとシグナル音が1回聞こえます。(LEDも1回点滅します)
- I. さらに1秒ほど待つとピピとシグナル音が2回聞こえます。(LEDも2回点滅します)
- J. さらに1秒ほど待つとピピピとシグナル音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- K. さらに1秒ほど待つとピピピピとシグナル音が4回聞こえます。(LEDも4回点滅します)
- L. スロットルスティックをフルハイ(スロットルスイッチをオン)にします。
- M. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- N. スロットルスティックを最スロー(スロットルスイッチをオフ)にします。
- O. ピピピピとシグナル音が4回聞こえます。(LEDも4回点滅します)
- P. **バッテリーをはずしてください。バッテリーをはずさないと設定が完了しません。この時点でスロットルスティックを上げてモーターは回りません。(これで初期不良だと思わないで下さい)**

さい)

- Q. バッテリーを再度接続してください。
- R. すぐにルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- S. スロットルスティックを上げて下さい。モーターが回り始めるはずです。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして10秒ほど経ってからもう一度Aから繰返してください。

(5) 競技 Mode (Mode5)

モード5はF5BやF5Dのような競技者向けのモードです。ハードウェア限界の出力を出そうとするため全ての安全回路と機能は開放される事になります。従って全ての故障やトラブルの責任はフライヤーに帰す事になりますので十分注意を払う事が必要です。

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 黒いジャンパーを3本のジャンパーピンのうちのどれか2本に差し込む。
- C. 送信機のスイッチをオンにします。
- D. スピコンにバッテリーを接続します。
- E. 2秒ほどでルルルとビーブ音が聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- F. ジャンパーを抜き取ります。
- G. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- H. 1秒程でピとシグナル音が1回聞こえます。(LEDも1回点滅します)
- I. さらに1秒ほど待つとピピとシグナル音が2回聞こえます。(LEDも2回点滅します)
- J. さらに1秒ほど待つとピピピとシグナル音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- K. さらに1秒ほど待つとピピピピとシグナル音が4回聞こえます。(LEDも4回点滅します)
- K. さらに1秒ほど待つとピピピピピとシグナル音が5回聞こえます。(LEDも5回点滅します)
- J. スロットルスティックをフルハイ(スロットルスイッチをオン)にします。
- K. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- N. スロットルスティックを最スロー(スロットルスイッチをオフ)にします。
- O. ピピピピピとシグナル音が5回聞こえます。(LEDも5回点滅します)
- P. **バッテリーをはずしてください。バッテリーをはずしないと設定が完了しません。この時点でスロットルスティックを上げてモーターは回りません。(これで初期不良だと思わないで下さい)**
- Q. バッテリーを再度接続してください。
- R. すぐにルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- S. スロットルスティックを上げて下さい。モーターが回り始めるはずです。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして10秒ほど経ってからもう一度Aから繰返してください。

(6)モード6からモード8まではRCカーに関係するモードなのでここでは割愛させていただきます。

(9) Li-Po モード (モード9)

このモードにセットするとLi-Poバッテリーを安全に使用することが可能になります。アンダーボルテージカットオフ電圧は1セル当たり3Vに設定されます。但しこの設定はモード2以降のどれかのモードを設定した後にいきます。モード1のままだとこのモード9は設定が出来ません。またそれまでに設定したモード内容は一切変更されませんので安心して下さい。このモード9に設定すると過去のモード設定が生きたまま(モード1を除く)Li-Poを使用することが出来るようになります。

- A. 送信機のスロットルを最スロー(またはスロットルスイッチオフ)。(フタバの場合はスロットルchをリバースにしてください)
- B. 黒いジャンパーを3本のジャンパーピンのうちのどれか2本に差し込む。
- C. 送信機のスイッチをオンにします。
- D. スピコンにLi-Poバッテリーを接続します。
- E. 2秒ほどでルルルとビーブ音が聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- F. ジャンパーを抜き取ります。
- G. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- H. 1秒程でルとビーブ音が1回聞こえます。(LEDも1回点滅します)
- I. さらに1秒ほど待つとピピとシグナル音が2回聞こえます。(LEDも2回点滅します)
- J. さらに1秒ほど待つとピピピとシグナル音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- K. さらに1秒ほど待つとピピピピとシグナル音が4回聞こえます。(LEDも4回点滅します)
- L. さらに1秒ほど待つとピピピピピとシグナル音が5回聞こえます。(LEDも5回点滅します)
- M. さらに1秒ほど待つとピピピピピピとシグナル音が6回聞こえます。(LEDも6回点滅します)
- N. さらに1秒ほど待つとピピピピピピピとシグナル音が7回聞こえます。(LEDも7回点滅します)
- O. さらに1秒ほど待つとピピピピピピピピとシグナル音が8回聞こえます。(LEDも8回点滅します)
- P. さらに1秒ほど待つとピピピピピピピピピとシグナル音が9回聞こえます。(LEDも9回点滅します)
- Q. スロットルスティックをフルハイ(スロットルスイッチをオン)にします。
- R. 再度ルルルとビーブ音が3回聞こえます。(LEDも3回点滅します)
- S. スロットルスティックを最スロー(スロットルスイッチをオフ)にします。
- T. ピピピピピピピピピとシグナル音が9回聞こえます。(LEDも9回点滅します)
- U. **Li-Po バッテリーをはずしてください。バッテリーをはずしないと設定が完了しません。この時点でスロットルスティックを上げてモーターは回りません。(これで初期不良だと思わないで下さい)**
- V. Li-Po バッテリーを再度接続してください。
- W. すぐにルルルそして続いてルルルとビーブ音が続いて2回聞こえます。(LEDの3回点滅が2回します)これがLi-Poモードになっている証拠です。
- Y. スロットルスティックを上げて下さい。モーターが回り始めるはずです。

もしこれでモーターが回らない場合には、バッテリーをはずして10秒ほど経ってからもう一度Aから繰返してください。